



## 「大阪府道路・河川・公園通報システム」の愛称を 「まいど通報システム」に決定!

2022年3月 都市住宅常任委員会での質疑から

公明党府議会議員団 副団長  
八重樫 善幸

### システムの周知と登録者増を!

◎ 府の通報システムは、今年2月から、新たに府管理河川と府営公園も対象に追加し、本格運用が始まっている。先の9月議会で提案した(通報への)「府の対応状況」については、昨年12月より府のホームページで公表された。そこで、現時点での対応状況について伺う。

▲ (事業企画課長答弁) 今年2月までに本システムに寄せられた通報約1,900件については、大阪府あての通報が276件。その内訳は、道路に関する通報が268件、河川に関する通報が7件、府営公園に関する通報が1件。所管の276件については、現地を確認し、対応が必要と判断したものが148件、早急な対応は不要で日々のパトロールによる経過観察等と判断したものが128件であった。そのうち、対応が必要と判断した148件については、順次対応を進めており、これまでに85件が完了し、残りの63件についても、今後対応する。対応状況については、通報を受けた翌月に府ホームページで公表しており、通報ごとに「対応完了」「対応予定」「経過観察」等の状況と、対応予定時期が分かるものについてはその時期も示し、府民に分かりやすくお知らせするように努めている。



「まいど通報システム」

【要望】 現在、このシステムの登録者は約8,700名。より多くの府民の皆さんに広く周知すべき。

### ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス ZEH(ゼッチ)レベルの省エネ基準で 府営住宅の建設を!

◎ 昨年11月の本委員会で、府営住宅も、省エネ性能の向上に意欲的に取り組むべきと提案したところ、ZEHレベルの省エネ水準を満たす府営住宅標準設計に向けて検討を行っていく、旨の答弁があった。その後、府において検討する中で、どのような課題があり、また、そうした課題を踏まえ、今後どのように取り組んでいくのか。

▲ (住宅整備課長答弁) 府営住宅においても、省エネ性能の向上等に積極的に取り組むことで、脱炭素社会の実現に寄与

するものと認識し、現在、ZEHレベルの省エネ水準を満たす標準設計の確立に向けた検討を進めており、①コスト面も考慮しながら、断熱材の仕様や省エネサッシなどの断熱性能を向上させる仕様の決定、②高性能エアコンや熱交換型換気設備などの高効率設備の設置とそれに伴う家賃への反映、といった課題がある。これらの課題に対応しながら、来年度中にはZEHレベルの省エネ水準を満たす標準設計を確立し、以降、集約建替え等で新築する府営住宅での採用に向けて取り組んでいく。

【要望】 省エネで、光熱費が抑えられれば、たとえ整備費増が家賃に反映されたとしても、実質的には負担増とならないはず。是非ZEHレベルの府営住宅の実現を。

### IoTやAIを活用した渋滞対策を!

◎ 府管理道路の渋滞対策は、「大阪地区渋滞対策協議会」で「主要渋滞箇所」として204箇所が位置付けられ、令和2年度末までの約10年間で59か所の対策が完了。しかし、依然として145箇所の未対策箇所が残る。この渋滞対策をより効果的に行うため、新技術の活用が必要と考えており、ETC2.0の活用など交通ビッグデータを活用し、渋滞発生状況の見える化等もすべき。残る「主要渋滞箇所」をどう解消していくのか。

▲ (道路整備課長答弁) 大阪府では、「主要渋滞箇所」の解消に向け、ETC2.0を用いた速度、経路分析や交通シミュレーションなどの新技術を活用し、ハード対策と迂回路への適切な誘導などのソフト対策の両面から取り組むこととしており、令和2年度末に策定した「大阪府都市整備中期計画」において、計画期間10年間に、未対策箇所145か所のうち、66か所の対策を実施する。引き続き、新技術を効果的に活用した様々な対策を検討し、渋滞対策を進めていく。

【要望】 IoTやAIなどの先端技術を活用することで、新しい渋滞対策に取り組むべき。



やえがし善幸 公式ホームページ  
https://www.yaegashi-y.jp  
QR code and social media icons for Facebook, Twitter, and Instagram.

#### ■ 八重樫 善幸・プロフィール

大阪府議会議員4期。公明党大阪府議会議員団 副団長。都市住宅常任委員会 委員。大阪府私立幼稚園振興議員連盟 副会長。関西宮澤賢治の会 副会長。岩手県北上市出身、県立黒沢尻北高、岩手大学農学部農芸化学科(生化学研究室)卒業。日本モンサント株式会社(現在ファイザー(株))でマーケティング、MRIに従事。